コンプラチェック
by MANDA

サービス資料（エンタープライズ向け）

調べる手間はシステムに。
担当者は、確かめるだけ。

名簿を読み込めば、何百件でも、検索・判定・記録づくりはシステムが行います。判定の理由と参照URLつきのレポートが対象ごとに残るので、担当者は要注意の対象を確かめるだけです。



上場企業・IPO準備企業・金融機関・商社の、コンプライアンス・法務・総務部門のみなさまへ

2026年11月版　MANDA株式会社

ISSUES

件数が多いほど、手作業と記録づくりが重くなります

反社チェックは「調べる」だけでなく、「何を、いつ、誰が調べたか」を後から説明できる形で残すことまでが仕事です。

IPO準備企業

主幹事証券から、役員・大株主・取引先など数百件のチェックと、その根拠を求められる。

上場企業

新規取引の審査に加えて、既存取引先の定期的な見直しが後回しになっている。

金融機関

融資先の会社だけでなく、役員・株主まで調べ、制裁リストとも照合する必要がある。

商社

海外の取引先を、現地の言葉の報道や公表情報まで調べきれない。

▼　コンプラチェックなら

POINT 01

名簿を読み込んで一括でチェック

Excel・PDF・Word・写真から社名と氏名を読み取り、最大100件をまとめて実行します。

POINT 02

審査で説明できる記録

判定の理由と参照URL、実行者・承認者・日時を、対象ごとに残します。

POINT 03

公的な処分情報と制裁リスト

5省庁の行政処分と、財務省・OFAC・EUの制裁リスト約9万件を毎回照合します。

POINT 04

定期チェックで変化だけ通知

毎日〜年1回の頻度で自動的に調べ直し、変わった点だけをお知らせします。

FEATURES

読み込み、実行、記録まで。担当者の作業は確認だけ

POINT 01

名簿を読み込んで一括でチェック

- Excel・PDF・Word（.docx）・紙の名簿を撮った写真から、社名と氏名を読み取ります
- 読み取った一覧は、実行前に画面で確かめてから実行できます
- 法人番号や都道府県があれば、同じ名前の別の会社と取り違えにくくなります
- 同じ名前の会社が複数あって特定できない行は「要特定」とし、回数を消費しません

POINT 02

審査で説明できる記録

- 判定（OK・要注意・NG）に、理由と根拠にしたページの参照URLをつけます
- 実行者と日時、承認者と承認日時を記録します（承認機能はチームプランの機能）
- レポートはPDFで出力でき、案件ごとのプロジェクトにまとめられます

一括チェックの画面イメージ



所要時間の目安：100件の一括チェックで、クイック約20分・詳細約50分。

※ 画面はイメージです。会社名・人物名は架空のものです。

DATABASE

1件のチェックで、ここまで調べます

行政処分	国交省 ネガティブ情報（全23分野）、金融庁 行政処分事例集、消費者庁 特定商取引法の執行事例、厚労省 労働基準関係法令違反の公表事案、公取委 独占禁止法の法的措置。公的サイトでの掲載期間が過ぎた過去の処分情報も、独自に蓄積して照合します。
制裁リスト	財務省（外為法の資産凍結等の対象）、米国OFAC、EUの制裁リストの約9万件の名前と照合します。旧称・通称などの別名も対象で、日本の会社をチェックするときも毎回行います。名前が似ているだけのものは、断定せず「要確認」と表示します。
実在性・行政情報	国税庁 法人番号、gBizINFO
報道・ネット上の情報	全国紙・地方紙・週刊誌・経済誌・業界紙、官報・行政の公示、判例、SNS（X）や掲示板、企業の公開情報。削除された記事も、ウェブ魚拓などの保存コピーから確認します。
海外	所在国を指定すると、現地語と英語で報道や公表情報を調べ、現地の法人登記や事業者登録の公開情報も確認します。所在国の指定は、1件ずつのチェックとAPIで行えます。 対応する26の国・地域：アメリカ、イギリス、中国、台湾、香港、韓国、シンガポール、タイ、ベトナム、インドネシア、マレーシア、フィリピン、インド、オーストラリア、ドイツ、フランス、イタリア、スペイン、オランダ、スイス、カナダ、メキシコ、ブラジル、アラブ首長国連邦、トルコ、ロシア

対象外：有料の記事データベースの検索、警察・暴力追放運動推進センターへの照会、上記以外の制裁リスト（英国など）、株式の保有割合による制裁対象の判定（いわゆる50%ルール）、PEPs（外国の重要な公人など）のリストとの照合、取引のモニタリング。

HOW IT WORKS

判定のしくみと、人が確かめるところ

機械的に照合できるものは照合し、記事の読み取りにはAIを使います。最後に判断するのは、担当者です。

1 公的データとの照合

システム

制裁リスト・行政処分・法人番号を名前で照合します。似ているだけのものは「要確認」にします。

2 検索

システム

社名・氏名に「逮捕」「行政処分」などの言葉を組み合わせて検索します。削除された記事は保存コピーも探します。

3 記事の読み取り

AI

見つかったページを開いて本文を読み、所属企業や関係者名と突き合わせて、本人かどうかを見分けます。

4 判定と記録

AI

OK・要注意・NGの判定に、理由と参照URLをつけ、実行者と日時を記録します。

5 確認と承認

担当者

担当者が参照先を読んで確かめ、承認者が承認します。誰がいつ承認したかも残ります。

項目	クイック	詳細
向いている対象	件数の多い一次チェック	重要な取引先、要注意が出た対象
調べ方	検索する言葉と読むページの数を絞り、速く調べる	すべての言葉で検索し、より多くのページを読む。AIも、より精度の高いものを使う
100件の所要時間	約20分	約50分
公的データとの照合	どちらも同じ（毎回すべて照合）	

AIの限界と、記録の考え方

AIの読み取りは、見落としや取り違えが起こることがあります。そのため、判定には必ず理由と参照URLをつけ、担当者が確かめられるようにしています。

ネット上の情報は日々変わるため、同じ対象でも実行した日によって結果が変わることがあります。いつ・誰が実行し、その時点で何を根拠にしたかを、記録として残します。

OPERATION

記事データベースや警察への照会とは、こう分担できます

全件を人手で調べるのではなく、一次チェックで絞り込んでから、必要な対象だけを照会に回します。

STEP 1　全件

コンプラチェックで一次チェック

役員・株主・取引先の全件を、公的な処分情報・制裁リスト・報道でチェックし、結果と参照URLを記録に残します。

STEP 2　担当者

要注意・NG・要特定だけを確認

参照先を読んで、同名異人でないかや事実関係を確かめます。OKの対象は、記録を残して完了です。

STEP 3　必要な対象だけ

記事データベース・照会へ

社内規程や主幹事証券の求めに応じて、有料の記事データベースや、警察・暴力追放運動推進センターへの照会に回します。

POINT 04

定期チェックで、変化だけをお知らせ

- 重要な取引先を登録すると、毎日・毎週・毎月・四半期・年1回の頻度で自動的にチェックし直します
- 前回から変わった点があったときだけ、メール・Slack・Webhookでお知らせします
- 見直しの作業は、通知が届いた対象を確かめるだけで済みます

SYSTEM

社内システムとつなげる

- REST APIでチェックを始め、結果をWebhook（署名つき）で受け取れます
- 基幹システムやCRMで取引先を登録したときに、自動でチェックを始められます
- 制裁リストとの照合だけを行う即時照会のAPIは、チェックの回数を消費しません

SAMPLE REPORT

レポートの見本



会社のチェック（判定NGの例）

総合所見に加えて、行政処分・報道・制裁リストなど項目ごとの評価と参照URLが並びます。



人物のチェック（判定NGの例）

役員や株主の個人も、同名異人を見分けたうえで、判定の理由と参照URLをまとめます。

※ 架空の会社・人物で作成した見本の1ページ目です。全ページは check.manda.bz/enterprise からPDFでご覧いただけます。

PLAN

料金の目安と、導入の流れ

月300回まで	**チームプラン　月額29,800円（税込）** 基本5名・1回あたり約99円。承認機能つき。1名追加ごとに月6,000円で、回数が60回増えます。
月300回を超える場合	**エンタープライズプラン　お見積り** 回数無制限。年間の件数・ご利用人数・API連携の有無をうかがって、お見積りします。
数件〜数十件	**月額6,200円（税込）から** 少ない件数向けの料金プランと、10回パック（2,400円・税込）があります。

機能は全プラン共通です（承認機能はチームプランの機能）。無料トライアル（10回まで・カード登録不要）でお試しいただけます。

導入の流れ

01
お問い合わせ
件数・ご用途・ご希望をお知らせください。

02
ご説明
30分ほどのオンラインで、御社の業務への組み込み方をご説明します。

03
お見積り・お試し
件数に合わせてお見積りします。まとまった件数でのお試しもご相談ください。

04
ご契約・初期設定
メンバーの招待、承認者の指定、保管期間などを設定します。

05
運用開始
名簿の一括チェック、定期チェック、API連携を始めます。

SECURITY

取引先の情報の扱い

社内のセキュリティ審査でよく確認される項目について、次のとおり対応しています。

通信も保存も暗号化

すべての通信をTLSで暗号化し、保存データも暗号化して保管します。

会社ごとにデータを分離

他社のデータを見たり操作したりすることはできません。メンバーの参加は、管理者の招待からのみです。

メンバーごとの権限

管理者・メンバーの区別と、承認者の指定ができます。

保管期間を決めて削除

チェック履歴を残す日数を、組織ごとに7日〜10年の範囲で決められます。期間を過ぎた履歴は自動で削除し、今すぐ消すこともできます。

別の場所にバックアップ

週に一度、東京リージョンの別の基盤に退避し、180日保管します。

年1回、実際に復元テスト

復旧目標はRPO 24時間・RTO 8時間。手順を文書にして、実際に確かめています。

AIの学習には使われません

調べる社名・氏名などは、AIと検索サービスに送って調べます。AIの提供元との規約上、送った内容がAIの学習に使われることはありません。

ログインと実行の記録

ログインの記録と、チェックごとの実行者・日時、承認者・承認日時を残します。

IP制限やシングルサインオンなど、追加のご要件は個別にご相談ください。セキュリティチェックシートへのご回答も承ります。

CONTACT

まずは、件数とご用途をお聞かせください

お問い合わせ

お見積り、オンラインでのご説明、まとまった件数でのお試し、セキュリティチェックシートへのご回答など、お気軽にご相談ください。

check.manda.bz/enterprise

ページ下部のお問い合わせフォームから送信してください。2営業日以内に、担当者からメールでご連絡します。

運営会社

会社名	MANDA株式会社
設立	2018年7月
所在地	東京都千代田区平河町2-5-3
代表者	代表取締役 森田 洋輔
事業内容	M&A検索エンジン「MANDA」の開発・運営、M&Aプラットフォームの提供、反社チェックツール「コンプラチェック」の提供
会社概要	manda.bz/about/company

無料トライアル

10回まで・カード登録不要。チェックとレポートをお試しいただけます。

check.manda.bz/login

ご利用ガイド

一括チェック・定期チェック・承認機能などの使い方をまとめています。

check.manda.bz/manual

APIリファレンス

チェックの開始、結果の取得、Webhook、制裁リストの照会APIの仕様です。

check.manda.bz/api-docs

本資料の内容は2026年11月時点のものです。料金・機能は変更になる場合があります。